

カナレットと ヴェネツィアの輝き

Canaletto and the Splendour of Venice



カナレット《大運河のレガッタ》1730-1739年頃 ボウズ美術館
© Bowes Museum / Bridgeman Images / DNPartcom

2024年

7/27 [土] - 9/29 [日]

開館時間 / 10:00 ~ 17:30 (展示室への入室は17:00まで)

休館日 / 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日に休館。ただし8月13日(火)は特別開館)

観覧料 / 一般1,500円(1,300円)、70歳以上・高校・大学生800円(700円)、中学生以下無料

* ()内は前売及び20名以上の団体料金。* 収蔵品展、ロダン館も併せてご覧いただけます。

* 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と、付添者1名は無料。

高校生無料ウィーク / 8月9日(金) ~ 18日(日) ※この期間にご来場頂いた高校生は、本展と収蔵品展を無料でご覧頂けます。

主催 / 静岡県立美術館、Daichi-TV、毎日新聞社、スコットランド国立美術館

後援 / 駐日イタリア大使館、プリティッシュ・カウンシル 協賛 / DNP大日本印刷 協力 / 日本航空、日本貨物航空

Daichi-TV 開局45周年記念

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

つながる、次へ

カーニバル、仮面、カジノ、ゴンドラ行き交う大運河、祝祭……水の都ヴェネツィアは今日、華やかな宴の街として知られていますが、こういったイメージは主に18世紀に形作られたものです。その当時ヴェネツィアで、アルプスを越えてやってくる旅行者から熱烈に愛好された画家が、カナレット(本名ジョヴァンニ・アントニオ・カナル)です。

グランド・ツアーと呼ばれる貴族の子弟達の旅行に、ヴェネツィアは欠かすことの出来ない目的地でした。そしてこの街の姿を鮮やかに、人々の息遣いまで感じさせるように描き出すカナレットの画風は、特にイギリスの貴族達が争うようにして求めたものなのです。

本展は、カナレットの作品に代表される、都市や名所を精密に描いた景観画「ヴェドゥータ」をまとめてご紹介する、日本初の展覧会です。グアルディアやペロットなど同時代の画家や、モネ、シニャックなど、後の世代が描くこの街の眺めもまた、併せてお楽しみ頂きます。

時の流れの向こうに輝くヴェネツィアの姿を、この機会に是非ご覧ください。



カナレット《サン・ヴィオ広場から見た大運河》1728年頃
スコットランド国立美術館 ©National Galleries of Scotland



フランチェスコ・グアルディ
《小さな広場と建物のあるカプリッチョ》
1759年
東京富士美術館
©東京富士美術館イメージアーカイブ /
DNPartcom



ウィリアム・マロー
《カプリッチョ:セント・ボール大聖堂とヴェネツィアの運河》
1795年頃 テート Photo©Tate.



クロード・モネ《サルテ運河》1908年
ボラ美術館



カナレット《昇天祭、モーロ河岸のブリチントーロ》1760年
ダリッジ美術館
©Dulwich Picture Gallery / Bridgeman Images /
DNPartcom

会期中イベント

カナレット展開幕記念ミニ・マルシェ(予定)

7月27日(土)、28日(日) 10:00 ~ 16:00
*詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

学芸員美術講座

「カナレットの景観画とカメラ・オブスキュラについて」

8月4日(日) 14:00 ~
会場:当館講堂
*申込不要、入場無料

特別講演会

「景観画の役割とは?—近代ジャーナリズムの始まり」

8月10日(土) 14:00 ~
講師:高梨光正氏(愛知県立芸術大学准教授)
会場:当館講堂
*申込不要、入場無料

当館学芸員によるフロアレクチャー

学芸員が展示について解説いたします。
8月12日(月・振休)、28日(水)、31日(土)、9月10日(火)、22日(日)
いずれも14:00 ~ 14:30(展示室にて)
*申込不要、本展観覧券が必要です。

館長美術講座「カメラ・オブスクラをめぐる話」

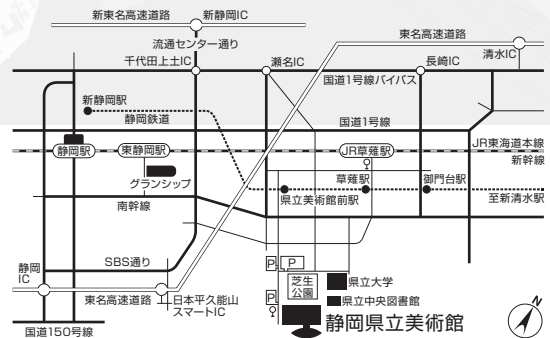
8月18日(日) 14:00 ~
講師:木下直之(当館館長)
会場:当館講堂
*申込不要、入場無料

カナレット展開連ワークショップ

カメラ・オブスキュラに関わるワークショップを予定しています。
8月24日(土)、25日(日)
講師:大塚敬太氏(写真家)
会場:当館実技室ほか
*要事前申込。詳細は個別チラシ、もしくは当館ウェブサイトをご覧ください。
一か月前を目途に募集を開始します。

チケット販売所 前売券は2024年7月26日(金)まで販売

【前売・当日券】 チケットぴあ、セブンイレブン(Pコード共通:686-923)、ローソン
チケット、ミニストップ(Lコード共通:43745)、セブンチケット(セブンコード:
105-551)、CNプレイガイド(ファミリーマート)、静岡県立美術館
【前売券のみ】 大和文庫、戸田書店(江尻台店)、静岡市美術館ミュージアムショップ



交通案内

- JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分
- JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分または北口から静鉄バスで約30分
- JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分または静鉄バスで約20分
- 静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分または静鉄バスで約3分
- 東名高速道路・静岡IC、清水ICから車で約25分、日本平久能山スマートICから車で約15分
または新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分

<お問合せ>

企画総務課… Tel.054-263-5755
Fax.054-263-5767
学芸課 …… Tel.054-263-5857
<ウェブサイト>
https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp
〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

次回展覧会 「無言館と、かつてありし信濃デッサン館—窪島誠一郎の眼」10月12日(土)~ 12月15日(日)

静岡市美術館展覧会のお知らせ 「珠玉の東京富士美術館コレクション 西洋絵画の400年」7月26日(金)~ 9月23日(月・振休)